

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 7 年 3 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 94 号 松戸市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
議員名・会派名等	日本共産党
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	私たち日本共産党は、本会議および委員会での討論という本来の発言を最大限に活かすことが議員の責務と考えます。 非公式の場に、議会で発言してもいない意見を掲載するというやり方は、議員自らが議会における議論を軽視する行為であるという考えから、以下、本会議や委員会などの公の場で討論した内容を掲載します。 2025 年 3 月 25 日 本会議 討論 日本共産党のミール計恵です。議案第 94 号 松戸市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について会派を代表して反対の立場から討論します。 本議案は、松戸駅西口の市営地下駐車場の利用料金を30分150円から200円に増額するものです。その主な理由は近隣の駐車場料金との均衡を図るためと、施設の老朽化に伴う修繕費の増加や光熱水費、人件費の高騰によるとの説明です。 まず、近隣の駐車場との均衡とは、駐車場法の第 6 条の規定で「付近の路外駐車場の駐車料金に比して著しく均衡を失しないものであること」が根拠とされています。つまりこの意図するところは民業圧迫の防止です。では、実際に本駐車場は民業を圧迫しているのでしょうか。審査ではまずその点を確認しました。 民業圧迫とは、周りの駐車場から本駐車場に流れ、民間の駐車場の経営を圧迫するということだと思います。そこでその指標の一つとなるのは駐車場が満車になっているか、ということです。そこで満車になる時間帯を確認したところ、日曜日の午後1時間程度のみとのことでした。また本駐車場は地下にあり、利用時間も8時から23時までと制約があり、条件がそもそも違い、すみわけが来ているのではないかと思います。 次に維持管理の費用についてですが、毎年施設整備費は数千万円

	単位で不用額が出ており、施設整備、維持管理等のための値上げの緊急性は低いと思われます。 また審査では令和 8 年度に施設整備についての今後の 10 年間の計画を立てる予定とのことでした。そうであれば、まずはその計画をもとに必要経費と収入予測をもとに運営計画をたて、そこから運営経費に不足が生じる場合は料金値上げも含め検討するべきではないかと思います。 したがって、現時点での料金引き上げは必要性和説得力に欠け拙速であることから、認めがたく反対を申し上げ討論とします。
--	--